

私たちの事業所は少し特殊です。

地域包括支援センターといえば、介護・医療・保健・福祉などの側面から高齢者を支える「総合窓口」であり、各市町村が設置主体となりますが、当事業所は鶴岡市からの補助金を受けないまま同様の役割を果たしています。日常的には「協立ケアプランセンターわかば」として介護保険請求から収入を得て、主に軽度の方を中心にケアプランを作成しつつ、地域の困難事例を多く扱っています。

ケアマネジャーは6名。

私は、基礎資格が看護師です。民医連の「患者さんの疾病を生活と労働の場から見る」という言葉が好きです。最近はSDH(健康の社会的決定要因)というのでしょうか。正に現場にはそのような方の相談が多く寄せられています。



センター長
加藤 咲 様

包括支援センター
わかば「こ聞」



奥の窓には手が届かない
窓際に仏壇が...



足の踏み場を確保したい
が多すぎる物を...



「捨てる」に
ストップをかける指先

Aさんは、54歳で4年前からの関わりです。65歳以下ですが特定疾患で介護保険の認定を受けています。自宅の風呂は荷物で一杯。入浴ができないためデイケアで週2回入浴をしています。お母さんと2人暮らしでしたが、お母さんは現在施設に入所されています。自宅は、去年も助け合いと一緒に掃除を行いました。今年も昨年と同じ状態になっていました。Aさんは、両股関節・膝疾患で杖歩行短距離のみ可能。ベッド環境が作れず生活動作に支障があり失禁しています。整形外科・内科・泌尿器科・皮膚科・眼科・歯科とあらゆる疾患で治療中です。今年もAさんより、お盆に和尚様の棚経があるので座れるように片付けてほしいと依頼があり、たすけあいの方々と4人で訪問しました。

依頼とは別に今回の訪問の短期目標は、熱中症にならない様空間を作り寝る場所を確保する。

長期目標は、ベッドを置き寝起きがスムーズにできる。股関節の痛みを和らげることができる。としました。

一件ゴミ屋敷のように見える自宅は、いたるところに衣類や生活用品などのビニール袋が山のように積み上げられています。どれもAさんにとっては必要なもの。日々の購入品も多く物は増えるばかり。説得されても捨てることを拒否するため、介入もままなりません。窓も開けることができず、よどんだ空気の中で新たな病気を発症させるのではないかと不安になります。結局20個ほどのごみ袋を作成したことで何とか布団が敷ける空間を作ることができ、今回の目標は達成したことになります。根本的原因を解決した訳ではありません。これからもAさんが自宅で元気に生活を続けられるよう、アプローチは続きます。生活の場所だからこそ見えてくるもの、見逃したことに気づく機会だと確信します。

探求のためのキーワード

SDH・人間観・医療観・継続性と総合性、健康権



その人らしい生活を支える



ようやく眠れる環境ができた。仏様も大丈夫。



ゴミ袋20個弱は自分たちの車につけて終了

施設紹介 協同の家『虹』

山形市内にある医療生協の事業所の2つめ。今回はしるにし診療所を紹介しましたが、今号は協同の家虹です。北山形駅から徒歩15分位の場所にありますが、鶴岡から車で行くには、やや分かりづらい所です。ぜひナビをお使いください。



左棟

住宅型有料老人ホーム
協同の家虹

右棟

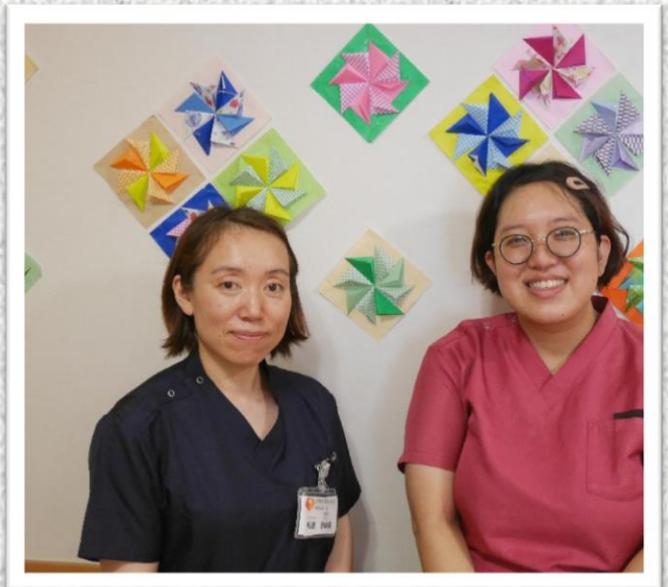
デイサービス虹

ヘルパーステーション虹

協同の家虹は、「介護が必要になっても住み慣れた街で暮らし続けたい」という組合員さんの望む声に応え、2009年に開設されました。

住宅型有料老人ホーム（要支援・要介護の方）に通所介護と訪問介護の事業所が併設されています。現在、31床の満床で外部デイの受け入れも行っております。看護師2名と介護士8名、相談員2名の職員で、入居者様、利用者様に安心・安全な介護サービスの提供を行っています。施設看護師は、医療的視点を持ちながら、生活のサポートを行い、その方らしく生活を送れる環境を他職種と協力し作ることが求められています。コミュニケーションと信頼関係を大切にし、家庭的な雰囲気の中でも人生の先輩という尊重の心を忘れず丁寧な対応を継続していきたいです。

協同の家虹 柏倉



2名の看護師が配属

ステイケーション (Stacycation)

コロナ禍で注目となっているのが「ステイケーション」。アメリカ発の「stay」と「Vacation」を組み合わせた造語だとか。海や山、旅行など遠出をせず自宅や近場で休暇を過ごすという意味だそうです。

多くの人たちは、旅行や実家（田舎）に帰ることをあきらめました。クーポン券や割引券、高級旅館や料亭など様々な形で自粛中の楽しみ方を提供しています。皆さんはどのようにすごされますか・・・

はたらく細胞（原作：清水茜）

講談社「月刊シリウス」に連載された漫画ですが、アニメ化されたものがNetflixでも配信されています。人間の細胞数およそ60兆個。この細胞たちを擬人化し体内に入ってくる細菌やウイルス、がんなどの闘いを1話完結のドラマにしたもので、既にご存じの方も多いかと… B細胞・T細胞・血小板・骨髄球など、流れてくる細胞の解説とシユールな内容が少し難しいのではないかなとも思いますが、皆様にとっては軽く読み流すことができる本かと思います。

アニメで見るのが更にお勧めです・・・